

# 日本スペインピアノ音楽学会 (JSSPM)

## 学会誌第2号 原稿投稿規程

当学会誌に投稿可能な論文の種類は、スペイン、イベロアメリカのピアノ音楽に関する「論文」「研究ノート」「紹介・報告」「エッセイ」である。いずれも未発表、未公刊でなければならない。投稿の応募資格を擁する者は、当学会会員に限る。

「論文」は、先行研究を多角的に検討したうえで独創的な知見が示されているだけでなく、脚注などによってその知見の裏付けを実証的に示す手続きがなされていることが必要となる。論文としての条件を満たせば、「事例研究」の類も投稿可能である。

「研究ノート」は、論文の体裁はとらないものの、学会誌にふさわしい専門的研究や調査報告の記事を指す。

「紹介・報告」には、楽譜、CD、図書を対象とする紹介記事や、演奏会・コンクールなどの報告記事が含まれる。

投稿応募の締め切り・・・2016年12月末日

原稿提出期限・・・2017年3月末日（厳守） \*完全原稿状態での電子データをメール添付、および、紙プリント2部を郵送で受け付ける（双方が必要となる）。

査読委員による査読と校正、執筆者校正・・・2017年4月

冊子刊行・・・2017年5月

投稿応募申込宛先：日本スペインピアノ音楽学会 事務局 [info.jsspm@gmail.com](mailto:info.jsspm@gmail.com)

原稿の提出先：メール 日本スペインピアノ音楽学会 事務局 [info.jsspm@gmail.com](mailto:info.jsspm@gmail.com)

郵送物 〒176-0002 東京都練馬区桜台 3-48-10-503

日本スペインピアノ音楽学会 事務局

## 《論文・研究ノートの様式》

### 1) 本文の書式について

#### ① ページレイアウト

A4版 横書き 1200字詰め(40字×30行、文字数と行数を指定する)

余白 上下 35mm 左右 30mm

フォント タイトル(主題) 14ポイント、MSゴシック、中央揃え

タイトル(副題) 11ポイント、MSゴシック、中央揃え

氏名 10.5ポイント、MS明朝、右揃え

(タイトルの英訳、氏名のローマ字表記も併記すること。Century)

本文 10.5ポイント、MS明朝

#### ② 分量の目安

本文、参考文献表、巻末資料を含めて、以下の分量を目安とする。

論文 25ページ以上

研究ノート 15ページ以上

紹介・報告 2ページ～8ページ程度

エッセイ 2ページ～8ページ程度

#### ③ 章立てについて

章は1. 2. ……、章の中の項目は 1) 2) ……と表記する。

数字、ドット、「」は全角。

### 2) 数字、アルファベットについて

本文中の数字(年号、作品番号など)やアルファベットは半角で表記する。

### 3) 作品名の表記について

音楽、映画、絵画の作品タイトルは《 》で括る。

組曲のように複数の曲がまとまって構成されている作品内の個々の曲については

〈 〉で括る。

書名は『 』、記事名は「 」とする。

### 4) 補注について

原則として尾注を用いる。

本文の当該箇所につき数字で示し、その注を本文の後ろに記載する。

5) 引用・参考文献表について

- ① 著者名の五十音順、欧文書籍の場合は著者名のアルファベット順に記載する。
- ② インターネット上の執筆者不明記事（wikipedia を含む）の引用は禁止とする。  
インターネット上のサイトを参考にした場合は、以下のように表記。  
著者（年）「題名」 入手先 URL（閲覧日）

6) 引用・参考文献の書き方

- ① 雑誌： 著者名（出版年）「記事題目」『雑誌名』巻，頁.
- ② 新聞： 『新聞名』（刊行年月日），頁.  
（記者名が書かれている場合）記者名（刊行年月日）「記事名」『新聞名』 頁.
- ③ 文献： 著者または編者名（出版年）『文献名』出版社.（出版年は第1刷の年を表記）
- ④ ひとつの文献が2行以上にわたる場合、2行目以降は左端を全角2文字分下げる。
- ⑤ 欧文の文献の場合、『 』は使用せず、タイトルはイタリック体で表記すること。  
例： Clark, Walter Aaron (2006), *Enrique Granados Poet of the Piano*, Oxford University Press,
- ⑥ 欧文文献の著者名は、姓,名 の順に表記する。
- ⑦ 欧文文献が編集書である場合、編者名のあとに(Ed)、複数いる場合は(Eds.)を付す。

7) 本文とは別に、巻末に記載する 70 字程度の略歴が必要となる。原稿提出と同時に、メールで送付のこと（紙焼きプリントの必要はない）。

《その他の注意事項》

1) 原語の単語の行またぎの処理について

原語の単語が、文末から文頭へかけて行をまたいで現れる時は、その音節分けを辞典にしたがって適切に行うこと。

2) 本文中に挿入する参考資料(図表・写真・グラフ等)の掲載について

- ① 本文の内容理解のために最も適切と判断される箇所に記載すること。
- ② 転載については、掲載元の許可が必要となる場合があるため、十分に留意すること。
- ③ 転載希望の資料について許可申請先が不明の場合は、JSSPM に連絡すること。

3) 章立てについて

論文、研究ノートについては、章に分けて構成、または小見出しをつけること。  
紹介・報告記事、エッセイについては、この限りではない。